



むすぶ

平成22年 1月 26日
秋田県教育庁生涯学習課
生涯学習・読書推進班



福寿草母なる子なる
蓄かな

山田 弘子

「じゃあ、読もう」国民読書年

文字・活字によって、人類はその英知を後世に伝えてきた。この豊穡で深遠な知的遺産である文字・活字を受け継ぎ、発展させ、心豊かな社会の実現につなげていくことは、今の世に生きる我々が負うべき重大な責務である。

平成20年6月6日「国民読書年に関する決議」より

決議文は、読書活動を推進するこの力強い言葉から始まります。読書の街づくりの広がりや様々な読書に関する市民活動の活性化など読書への国民の意識を更に高め、政官民が協力し、国を挙げてあらゆる努力を重ねることが宣言されました。

2010年は、国民読書年です。キャッチフレーズの「じゃあ、読もう」には、読書を特別なことではなく、普段の日常生活にあるものとして受け入れてほしいという願いが込められています。文部科学省の国民読書年に関するホームページも御覧ください。

読書活動が一層力強く展開される一年へ期待が大きくふくらみます。

《読書活動に関する主な動き》

2000年 子ども読書年

2001年 「子ども読書の日」制定

2005年 「文字・活字文化の日」制定

2010年 国民読書年



読書量・読書週間から見る 子どもの読書

H21.12月実施
秋田県学習状況調査より

「読書に対する意識」「読書量」「読書習慣」の調査をしました。4月実施の全校学力・学習状況調査結果と照らし合わせて小学6年生の読書の様子を捉えました。

< 読書は好き >

(強くそう思う,そう思う)

{4月}	{12月}
76.1%	81.0%

< 学校や地域の図書館を利用する >

(月5回以上)

{4月}	{12月}
13.1%	17.1%

< 図書館に行かない >

{4月}	{12月}
34.7%	32.4%

図書館利用者が少し増えています。子どもたちにとって最も身近な読書環境として学校図書館の役割の大きさが調査結果からも分かります。

活動紹介

男鹿市立鶴木小学校 & 男鹿市立図書館

鶴木小学校に保護者の読み聞かせボランティアが結成されて1年。今年度は選書から練習・本番まで、男鹿市立図書館の支援を得て、充実した活動を展開しています。クリスマス会は、大型絵本『バスでおでかけ』と『まどからおくりもの』の読み聞かせにピアノBGM、司書のブックトークという内容で全校児童に大好評でした。図書館指導教諭・保護者・子ども読書夢プラン事業の司書が協力して



< 校長先生コーナー >

楽しい企画を考えています。男鹿市立図書館では、読み聞かせスキルアップの研修情報も提供しています。

学校図書館には、校長先生のおすすめコーナーをはじめ、子どもが読書を楽しむしかけがたくさんあります。



< クリスマス会。
キャンドルをもってごあいさつ >

子ども読書夢プラン事業 活動状況

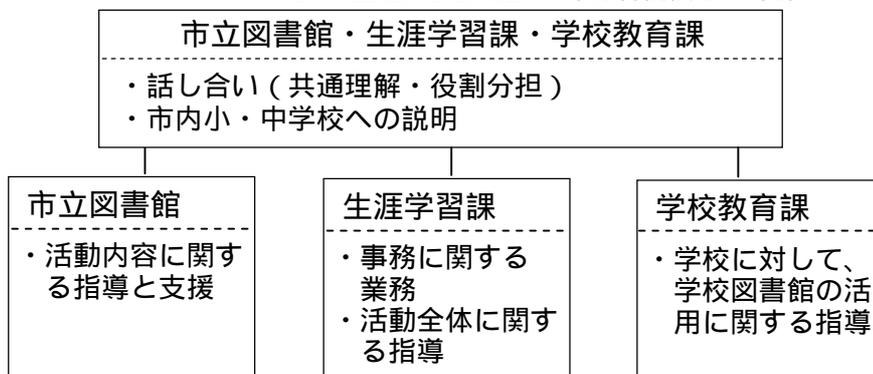


《推進のためのシステムづくり》

新教育課程の本格実施を見据えて、学校図書館の環境整備を求める声が大きくなる中、来年度は県内すべての市町村から本事業への希望が出ています。

子どもの読書活動を推進し、環境の整備と充実を図るためには、システムの確立が必要です。関係機関等と連携して進めている市の例を紹介します。

「学校図書館活用」〔市教育委員会の方針〕



このような連携体制の確立により、活動は円滑に展開されています。県でも、第二次県民の読書活動推進計画に基づいて「読書活動推進会議」を開催し、学校教育・図書館・社会教育・民間団体等へと組織を拡大しています。体制整備は、読書推進という共通の願いを充実させるために欠かせないものだと実感しています。

《第3回研修会を実施》 H211.13(水) 秋田県生涯学習センター

司書の方々が集まり、各地区での活動紹介や情報交換をとおして、環境整備の視点から学校図書館の活性化について話し合いました。子どもの読書活動を直接支援している立場から、共通の話題も多く出され、活動の成果・課題から今後の活動の方向性も見えてきました。



<活動の様子を紹介し合う参加者の様子>

本好きな子どもが増えています

- ・学校図書館に足を運ぶ。
- ・本を大切に扱う様子が見られる。
- ・読み聞かせや展示に主体的に取り組む。
- ・本についてのリクエストが多くなっている。
- ・貸出冊数が増えている。
- ・公立図書館の本に関心をもつ。

もっと進めたいと思います

- ・図書ボランティアとの連携
- ・中学生の読書活動支援
- ・先生方との連携
- ・複数の学校図書館への対応
- ・図書室の暖房

子どもたちの反応を実感し、熱意をもって活動している司書の方々の一番の悩みは、直接指導している先生方ともっとつながりたいということでした。活用されてはじめて生きる図書館。よみがえらせるためには、環境整備と活用の両面の力が必要です。

読書の啓発活動は昭和22年に遡ります。「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと第1回「読書週間」が開催されました。「子どもの読書週間」は昭和34年に始まっています。これらの活動は全国に定着し、現在も様々な取組が展開されています。読書への思いは時代を超えてつながっています。

秋田県教育庁生涯学習課
生涯学習・読書推進班

URL
<http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>

